

第64回

近畿北陸地区 歯科医学大会

チーム医療が創る未来

2012.6.10
神戸国際会議場

第64回 近畿北陸地区歯科医学大会

チーム医療が創る未来

〈表紙〉

場所：神戸北野異人館 風見鶏の館前

撮影：太田未来子（エムツーフォト）

第64回 近畿北陸地区歯科医学大会

◆ご案内	1
◆ご挨拶	2
◆大会日程	3
◆大会役員	4
◆近畿北陸地区歯科医学大会の歩み	6
◆お知らせ	14
◆会場周辺レストラン案内	16
◆市民公開講座	19
◆学術講演	23
◆次回開催地紹介	26

うらかな好季節を迎え、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成24年6月10日(日)に「チーム医療が創る未来」をテーマにして、神戸国際会議場（兵庫県）におきまして第64回近畿北陸地区歯科医学大会を開催しますので、ご案内申し上げます。9日(土)・10日(日)にはワールド記念ホールにてポートピアデンタルショー2012も併催されています。

多数の会員ならびにスタッフの皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

富 山 県 歯 科 医 師 会
京 都 府 歯 科 医 師 会
和 歌 山 県 歯 科 医 師 会
大 阪 府 歯 科 医 師 会
福 井 県 歯 科 医 師 会
奈 良 県 歯 科 医 師 会
石 川 県 歯 科 医 師 会
滋 賀 県 歯 科 医 師 会
兵 庫 県 歯 科 医 師 会



第 64 回近畿北陸地区歯科医学大会会長
社団法人 兵庫県歯科医師会 会長

豊 川 輝 久

このたび、伝統ある近畿北陸地区歯科医学大会を兵庫県で開催させていただくことは、私どもにとりまして大変光栄であるとともに、この上ない喜びであります。

さて、現在の我が国は超高齢社会の中で社会保障の枠組みにきしみが生じ、世界に冠たる国民皆保険制度さえも揺らぎはじめています。昨年の社会保障・税一体改革成案では「受診時定額負担」制度導入が提案されましたが、早々に医療関連団体が導入反対の署名運動を展開した結果、本制度導入は見送りになりました。その直後には、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）交渉参加で懸念される医療の市場化の問題が浮上し、混合診療の導入や医療機関への株式会社参入等が国民皆保険制度崩壊へと繋がるものと懸念されます。しばしば財源論が先行して語られますが、医療現場において患者と向き合う私たちにとって、真に必要なとされる社会保障制度のあるべき姿を見つめ、皆保険制度を中核とした医療を将来にわたり守り続ける努力をしていかなければなりません。同時に、専門職である歯科医師として、目ざましい進歩を続ける歯科医学に常に目を向け、これを習得し国民に還元していく責務があります。そのためにも、生涯研修に励み、日々研鑽に努めなければならないことは言うまでもありません。今回の歯科医学大会がその一助になれば幸甚です。

本大会のメインテーマを「チーム医療が創る未来」とさせていただきました。近年、医療分野において関連職種の専門家が相互に役割分担・連携を図る『チーム医療』が広がりを見せています。日常の歯科医療現場をふり返ると、歯科衛生士や歯科技工士等のスタッフと役割分担・連携を図ることで、より良質な歯科医療の提供と安全確保を行うことが可能で、その体制を構築していくことが歯科医療機関としての責務であると考えます。

午前の部を市民公開講座として市民にも参加していただき、神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー兼総監督の平尾誠二氏をお招きし「変化する時代に求められるリーダーとは？～人を育て、組織を動かす～」と題しご講演いただきます。午後の部は、東京都でご開業の阿部二郎先生による「4Stepで完成。下顎吸着義歯とBPSパーフェクトマニュアル～歯科技工士と共に作るシステムティックな義歯製作～」、大阪府でご開業の山本浩正先生による「患者満足度を上げる歯周チーム医療」という二題のご講演をお願いいたしました。いずれのご講演も、日常臨床における身近な『チーム医療』のあり方をご示唆いただけるものと確信しておりますので、ぜひとも多数の先生方のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたりご支援、ご協力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成24年6月10日（日）

9：00	開場・受付開始	
9：45	開会のことば 市民公開講座 変化する時代に求められるリーダーとは？ ～人を育て、組織を動かす～ 神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー 兼 総監督 平尾 誠二	大会副会長 村上 英夫 座長 大会副会長 伊藤 英俊
11：20	大会セレモニー 挨拶 祝 辞 次回開催地紹介・挨拶	司会 大会委員長 末瀬 裕一 大会会長 豊川 輝久 兵庫県知事 井戸 敏三 神戸市長 矢田 立郎 日本歯科医師会副会長 山科 透 日本歯科医学会会長 江藤 一洋 富山県歯科医師会会長 吉田 季彦
12：00	休 憩	
13：20	学術講演（1） 4Stepで完成。下顎吸着義歯とBPSパーフェクトマニュアル ～歯科技工士と共に作るシステムティックな義歯製作～ 東京都開業 阿部 二郎	
14：50	学術講演（2） 患者満足度を上げる歯周チーム医療	大阪府開業 山本 浩正
16：20	閉会のことば	大会副会長 釜谷 隆秋

大会役員

大会会長	豊川 輝久			
大会副会長	村上 英夫	伊藤 英俊	釜谷 隆秋	
顧問	大久保満男	江藤 一洋		
参 与	吉田 季彦	平塚 靖規	中谷 譲二	太田 謙司
	齊藤 愛夫	田中 康正	白尾 理英	芦田 欣一
委員長	末瀬 裕一			
副委員長	三代 知史			
総 務	中道 勇	中川 徹	中西 孝紀	牧野 利彦
	山本有一郎	田中 和宏	佐々木康雄	坂本 直幸
渉 外	安田 篤	山崎 安仁	林 俊郎	加藤 高男
	安岡 良介	垣田 治彦	安宅 公男	吉田 民夫
	小瀬木良和	市川 晃	平林 正樹	林 泰弘
	大橋 寛治	岡本 学	川野 敏樹	田口 洋見
	緒方 惟幸	吉田 陽彦	大森 正男	坂本 義昭
	岸 且好	水野 正忠	正田 晨夫	土居 正英
	近藤 茂男	芳本 忍	藤邑 守成	蓮池 芳浩
	長沼 弘喜	石橋 宏文	中塚 直	山本 哲典
	佐藤 誠	中村 彰彦	西村 徹	立木 健
	田村 忠昭	塩見 聰	濱野 正和	
受 付	城川 和夫	清田 築	谷川 文紹	松尾 亮
	坂本 嘉彦	三井 博晶	岩佐 勝也	仲河 義仁
	高 誠	青島 潔	山中 茂史	市原 聡
	天羽 隆	竹田 幸弘	津田 高司	草間 由紀
	印牧 康祐	三宅 洋	中道 直司	下村 光延
	上田 晴三	花岡 靖浩	野阪 幸男	西田 明彦
	東山 一博	堀井 長幸	山田 隆一	中安眞理子
	高田 克重	島谷 俊秀	中川 泰彰	堀畑 勝己
接 待	野田 修	山田 隆寛	立浪 徹	木村 明祐
	横田 誠	宮本 保幸	正木 文浩	高木 健次
	土田 雅久	坂本 守孝	深田 拓司	松倉 晴明

接 待	松尾 孝人	木田 眞敏	近藤 貢	清水 信明
	窪田 隆之	東浦 宏守	松塚 裕弘	加藤 嘉純
	川邊 清光	大場 有一	中村 忠	森田 潤
	木村 和弥	大西 啓之	橋本 芳紀	中道 雄司
	清水 一彦			
講 演	齋藤 彰	袋布 充	平野 裕之	嶋田 崇
	佐藤 純造	村上 浩孝	赤根 賢治	河村 達也
	高橋 均	水谷 文美	高田 利之	大野 弘毅
	尾松 素樹			
会 場	山本 尚靖	折山 弘	城野 利盛	上田 均
	長澤 成明	芦田 完	丸橋 幸信	石垣 博之
	中井 聖	片岡 宏之	瀬古口精良	吉岡 慎郎
	松本 実	岡田正二郎	池田 隆彦	青木 俊昌
	田中 肇	杉山 友一	岡山 晃三	寶達 照樹
	辻井 毅	内藤 正知	長 哲也	牛村 章
	村戸 建一	佐藤 修	金田 成煥	諸頭 智彦
	川瀬 英嗣	松原 寛	矢部 公典	中谷 昌弘
	神田 貢	武藏 泰弘		
記 録	稲田 次郎	内藤 雅文	山田 貢司	井内 洋
	木田 友信	辻坂 智矢	新家 信行	松中 保
	名倉 新	竹内聖太郎	堀 宏之	高橋 勝之
	西尾 嘉高			
会 計	松岡 正道	内藤 春生	江見 啓志	古川 壽男
	丹田 博巳	前川 彰男	上田 保秀	竹下 亨文
	桜井 孝徳	神田 孝平		
実行委員	高端 泰伸	後藤 康	鞍谷 尚子	西村 則彦
	深澤 高壽	平田 憲雄	吉田 穰次	遠藤 佳樹
	耕田 英樹	長谷川雅一	福永 城司	

近畿北陸地区歯科医学大会の歩み

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
			「日本歯科医師会学術会議 近畿地区歯科医学大会」		
1	昭和23	1948 10/31	大阪府 大阪市 大阪歯科大学		
2	昭和24	1949 10/30	京都府 京都市 技工士問題に関して開業歯科医の反省を促す 予防矯正の新しい問題、古い問題 研究発表 19題 府県代表発表 3題	日本歯科医師会囑託 日本歯科大学	真鍋満太 榎 恵
3	昭和25	1950 5/28	兵庫県 神戸市 神戸商工会議所 機能的顎矯正法（アクチバートル）の理論と実際 社会保険診療における保存療法 現行社会保険制度に関連して歯科医師の向上と奮起を促す 府県代表発表 5題 会員研究発表 43題	大阪大学 東京医科歯科大学 日本歯科医師会顧問	石河圭介 檜垣麟三 真鍋満太
4	昭和26	1951 8/26	和歌山県 高野山 金剛峰寺別院・高野山大学 （特別講演） 歯髄疾患と診療報酬に就て 臨床に直結する有床義歯の構成法に就て 府県代表発表 7題 会員研究発表 臨床研究室 示説	大阪歯科大学 東京歯科大学 日本歯科大学	七浦幸七 杉山不二 山口秀雄
5	昭和27	1952 9/28	奈良県 奈良市 奈良県公会堂 歯科用薬物の特殊性に就て 現今開業歯科医制度から見た社会保険保存診療に就て 偏側義歯に就て 会員 研究発表 31題	大阪歯科大学 日本歯科医師会学術会議議長 大阪大学	矢尾太郎 檜垣麟三 渡辺 悌
6	昭和28	1953 10/31 11/ 1	第5回日本歯科医学会総会 大阪府 大阪市 大手前会館・大阪歯科大学病院講堂 他 「近畿北陸地区歯科医学大会」名称変更		
7	昭和29	1954 11/14	京都府 京都市 京都府立医大附属病院 考古学 興味ある顎腫瘍の二、三について 遊離端義歯について 社保と税について 府県代表講演 10題 会員研究発表 68題 示説 3題	大阪歯科大学 日本歯科医師会常務理事	水野清一 七浦幸七 中沢 勇 竹中恒夫
8	昭和30	1955 11/13	兵庫県 神戸市 神戸山手学園 根管治療と抗生物質使用の再検討 社会保険の推移と歯科医学 最近の日本内外情勢 健保補綴の境界に対する理論と臨床 府県代表講演 9題 会員研究発表 32題 テーブルクリニック 6題 臨床研究室 4題	大阪歯科大学教授 日本歯科医師会常務理事 産経新聞社（大阪）最高顧問 日本大学歯学部教授	坂 珧 竹中恒夫 塩沢元次 沖野節三
9	昭和31	1956 10/21	石川県 金沢市 金沢市中央公会堂・藤花学園ホール 顎炎に就いて 再度社保重大危機に直面して 歯科診療のあすなる物語 府県代表講演 9題 会員研究発表 34題	大阪歯科大学教授 日本歯科医師会副会長 参議院議員 日本大学歯学部教授	白山任男 竹中恒夫 正木 正

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
10	昭和32	1957 10/13	滋賀県 大津市 滋賀会館 歯性病巣感染の問題点 義歯について 府県代表講演 11題 一般講演 41題 示説講演	京都大学医学部講師 東京歯科大学教授	小野尊睦 矢崎正方
11	昭和33	1958 10/18	大阪府 大阪市 大手前会館 総義歯の診断と印象 臨床矯正あれこれ 代表講演 12題 一般講演 56題 示説 3題	大阪大学歯学部教授 大阪歯科大学教授	河合庄治郎 太田 実
12	昭和34	1959 10/11	兵庫県 神戸市 神戸商工会議所 観光映画 続間接法における歯冠補綴 二、三最近の歯科用薬物について 南極探検と地球観測年の意義 臨床研究室 3題 一般講演 31題 学術映画教室 2題 示説 4題 目で見る臨床研究室 3題	元日本歯科大学教授 大阪歯科大学教授 元南極探検隊長	細野来馬 矢尾太郎 永田 武
13	昭和35	1960 10/30	京都府 京都市 京都会館 学術映画2 咬合採得に関する理論と実際 根端病変のX線像殊に上顎洞との関係について 日常実施する外科的処理の合併症不快事項とその分析並びに その処理について 日本的とは 臨床研究室 4題 一般講演 27題	大阪歯科大学教授 東京歯科大学教授 九州歯科大学教授 京都大学教授	中村俊一 三崎 郎 平川正輝 桑原武夫
14	昭和36	1961 9/23	富山県 富山市 富山市公会堂 特別講演 一般講演（会員発表） シンポジウム・学術映画		
15	昭和37	1962 11/18	和歌山県 和歌山市 和歌山県経済センター 観光映画 歯科医業の合理化問題について 小児歯科領域における補綴の問題 歯槽膿漏について	大阪歯科大学・大阪大学講師 日本大学歯学部講師 大阪歯科大学講師	北野信治 深田英朗 宮野 昇
16	昭和38	1963 10/26 10/27	第10回日本歯科医学会総会 大阪市 大阪フェスティバルホール・大手前会館		
17	昭和39	1964 9/20	兵庫県 姫路市 姫路市市民会館 観光映画 総義歯における個性美の表現 口腔悪性腫瘍の初期診断 会員発表 20題	大阪歯科大学教授 日本大学歯学部教授	中村俊一 中村平蔵
18	昭和40	1965 10/17	京都府 京都市 京都会館 観光映画 根管治療の問題点をつく 歯槽膿漏治療における薬物応用の臨床価値について 現在社会と憲法 シンポジウム 小児歯科・外科	大阪歯科大学教授 東京歯科大学教授 立命館大学総長	福地芳則 木村吉太郎 末川 博

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
19	昭和41	1966 9/18	福井県 福井市 福井県民会館 越前義経記 口腔出血の診断とその処置方針 アトラクション 小浜「雲浜獅子舞」 テーブルクリニック 4題	福井新聞主事 東京歯科大学	青園謙三郎 大井 清
20	昭和42	1967 11/12	奈良県 天理市 天理市民会館 第10回日本歯槽膿漏学会と併催 学術・観光映画・音楽 日本歯槽膿漏学会の10年を顧みる シンポジウム 歯槽膿漏症の治療をめぐって	東京医科歯科大学教授	今川与曹 木村吉太郎 中村恭政 石川 純 佐藤徹一郎 若野洋一 青野 健 小西浩二
21	昭和43	1968 10/27	兵庫県 神戸市 神戸国際会館 テーマ「印象」 ジャケット冠とポスト冠の印象 白歯クラウン・ブリッジの印象 局部床義歯・殊に数歯にわたる遊離端のケースについての印象 総義歯 殊にフラッピーガムのケースについての印象 印象についてのパネルディスカッション	日本歯科大学教授 東京医科歯科大学教授 大阪歯科大学教授 日本補綴歯科学会会長 東京歯科大学講師	多和田泰一 石原寿郎 三谷春保 河辺清治
22	昭和44	1969 10/10 ～10/13	第12回日本歯科医学会総会 大阪府 大阪市 大阪フェスティバルホール		
23	昭和45	1970 5/30	京都府 京都市 京都会館 狂言「見物左右衛門花の京都を行く」 私の歩んできた道 根管充填問題について 特に糊剤、固形並びに連合充填の臨床的意義とその応用価値について 困難な下顎総義歯について シンポジウム 口腔外科・化学療法剤の口腔応用 口腔外科・口腔外科の化学療法―臨床的立場から― 歯科心理・精神身体医学から見たデンタルショックの予防 映像による歯科治療恐怖のコントロール ―学習理論による患者行動の再調整―	大阪歯科大学学長 東京歯科大学教授 九州歯科大学学長 愛知学院大学歯学部助教授 大阪歯科大学教授 東京歯科大学教授 歯科心理研究会副会長	白数美輝雄 関根永滋 坪根政治 服部孝範 高須 淳 内田安信 山下 幸
24	昭和46	1971 9/15	石川県 金沢市 金沢市観光会館 診療合理化について 医の倫理 月・猩堂 東 芸妓連中 歯科臨床家が考慮すべき口腔感覚の諸問題 口腔粘膜疾患 根管充填の諸問題 最近の咬合理論の一般臨床への応用	関東歯科医療管理学会会長 東京大学名誉教授 大阪大学歯学部教授 群馬大学医学部教授 東京歯科大学助教授 医学博士	織家 勝 花山信勝 河村洋二郎 松田 登 長谷川正康 宮崎達郎

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
25	昭和47	1972 11/12	大阪府 大阪市 大阪府歯科医師会館 テーマ「新しい趣向と明日への適応」 会員発表 5題 時局講演 総義歯の咬合と理論（中央研修ゼミナールより） パネルディスカッション 歯冠修復の問題点	日本歯科医師会専務理事 東京医科歯科大学教授	武石信治 林都志夫 三谷春保 山岡 昭 岡田周造 山下 敦 坂口邦彦
26	昭和48	1973 11/11	滋賀県 大津市 滋賀県立体育館 医学と密教 抗生物質の作用機序 テーブルクリニック 10題	真言宗大日山金剛華寺管長 京都薬科大学教授	桐山靖雄 中沢昭三
27	昭和49	1974 8/18	兵庫県 神戸市 神戸サンボーホール 白歯欠損の回復―クラウンブリッジの立場から― 白歯部架工義歯の設計 局部床義歯の維持装置と設計 パーシャルデンチャーのためのプランニング パネルディスカッション 白歯部欠損補綴について	大阪歯科大学助教授 日本歯科大学教授 広島大学歯学部教授 大阪歯科大学教授	北上徹也 横塚繁雄 津留宏道 三谷春保 三谷春保 横塚繁雄 津留宏道 北山哲也
28	昭和50	1975 9/28	富山県 富山市 富山県民会館 映画 和漢薬を探る 小児の口腔健康管理・小児歯科とは 小児の口腔健康管理・健康管理と予防 小児う蝕治療の理論と実際	富山大学和漢薬研究所教授 日本大学歯学部教授 日本大学歯学部講師 東京医科歯科大学講師	難波恒雄 深田英朗 赤坂守人 落合靖一
29	昭和51	1976 9/12	京都府 京都市 京都会館 禅と医学 小児歯科はいかにあるべきか シンポジウム 小児歯科をめぐって	臨濟宗天竜寺派管長 東京医科歯科大学教授	関 牧翁 山下 浩 榊原悠紀田郎 山下 幸 吉田定宏 稗田豊治
30	昭和52	1977 11/13	和歌山県 和歌山市 和歌山県民文化会館 郷土芸能「黒潮太鼓」 学生とともに52年 歯科医療の問題点とその対策―再開中医協より―	日本歯科医学会会長 大阪歯科大学学長 医事評論家	白数美輝雄 水野 肇
31	昭和53	1978 10/15	大阪府 大阪市 大阪府歯科医師会館 テーマ「歯科医療を広く多くの人々へ」 会員発表 4題 テーブルクリニック 1題 世界の動向の中の日本 補綴修復物の新しい考え方と実際 特別実習指導 歯科における救急蘇生法		
32	昭和54	1979 9/30	福井県 敦賀市 敦賀市民文化センター テーマ 「新しい歯科医療を求めて―修復物とペリオの接点―」 映画 Periodontal Proshesisの考え方と実際 ブラッシングとモチベーションとラポールについて ―先生、この歯はあと何年もつでしょう― 歯を長持ちさせるための生理学	東京医科歯科大学助教授 北海道大学歯学部教授 大阪歯科大学教授	井上昌幸 石川 純 寛道幸男

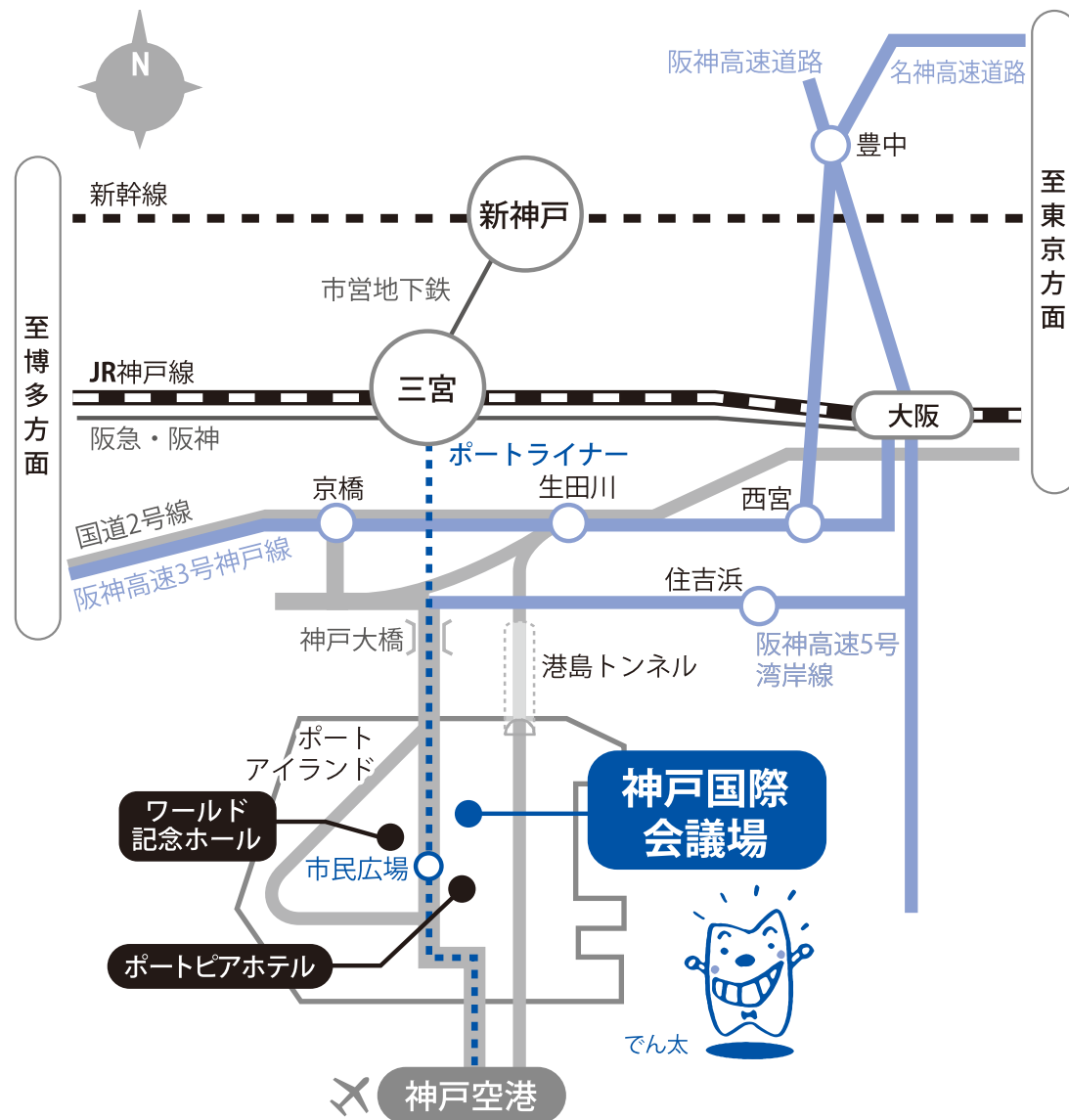
回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
33	昭和55	1980 6/ 8	大阪府 大阪市 大阪歯科大学 テーマ「今こそ學術の灯を」 会員発表 7題 小児歯科臨床における最近の考え方	米国ノースカロライナ大学歯学部 小児歯科学正教授 米国小児歯科学会会長	THEODORE.R. OLDENBURG
34	昭和56	1981 11/15	兵庫県 神戸市 神戸国際会議場 テーマ「生体と口腔の調和」 免疫学はここまで進んだ 生体と調和した局部床義歯 生体と調和した総義歯	大阪大学学長 大阪歯科大学教授 元東京歯科大学教授	山村雄一 三谷春保 河邊清治
35	昭和57	1982 10/24	奈良県 奈良市 奈良市史跡文化センター テーマ「創造と伝達と飛躍を」 春日大社 舞楽「蘭陵王」 21世紀をめざる歯科医療の動向 医療と文明	九州大学歯学部教授 作家	森岡俊夫 小松左京
	昭和58	1983	第5回日本歯科医学会総会		
36	昭和59	1984 9/15	京都府 京都市 京都會館 テーマ「よりすこやかな生活は口腔から」 箏曲「空の雲」他 福祉国家と医療 シンポジウム これからの歯周治療をどう考えるか	京都大学法学部教授	高坂正堯 山岡 昭 石川 純 鴨井久一 長谷川紘司 五十嵐孝義
37	昭和60	1985 9/15	石川県 金沢市 金沢市文化ホール テーマ「あすへの歯科医療」 素囃子・一調一管 情報新時代 歯周治療の現状とその問題点 高齢者の有床義歯	NHK放送総局特別主幹 日本歯科大学教授 大阪歯科大学教授	磯村尚徳 鴨井久一 西浦 恂
38	昭和61	1986 9/27	大阪府 大阪市 大阪府歯科医師会館 テーマ「21世紀への歯科医療」 外来手術前後の投薬 最近の硬質レジン前装冠の動向と問題点 顎関節症への臨床的アプローチ 日本人の形成	大阪歯科大学教授 住友銀行本店歯科部長 大阪府会員 作家	岡野博郎 岡田周造 中村公雄 梅原 猛
39	昭和62	1987 11/15	滋賀県 大津市 滋賀會館 テーマ「細分化時代の次に来るもの —生涯健歯とみのりある老後—」 映画 天気と人間 ヒトの体に秘められたしくみとその移り変わり 生涯健歯であるために 前歯の審美補綴	NHK解説委員 NC9気象キャスター 大阪歯科大学教授 朝日大学歯学部教授 国際デンタルアカデミー副所長	倉嶋 厚 太田義邦 岩山幸雄 岩田建男
40	昭和63	1988 11/20	兵庫県 神戸市 神戸国際会議場 テーマ「成熟社会への歯科医療」 科学と倫理 前歯部欠損の審美的修復・CSCテレスコープを応用した可撤性 ブリッジとデンチャー 前歯部欠損の審美的修復・陶材とレジン修復における 現状と問題点	京都大学名誉教授 神戸市立中央市民病院院長 大阪歯科大学教授 日本歯科大学教授	岡本道雄 川添堯彬 横塚繁雄

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
41	平成元年	1989 11/12	富山県 富山市 富山県民会館 テーマ「自然との調和」 平成の始まりと世界 漢方薬体系の薬理学的特徴 生体と調和した総義歯—無歯顎における咬合の場—	評論家 富山医科薬科大学教授 東京歯科大学教授	村松 剛 木村正康 溝上隆男
42	平成2	1990 11/25	京都府 京都市 パルスプラザ（京都府総合見本市会館） テーマ「心ゆたかな明日へ」 分子免疫学の進歩 顎関節症の保存療法としてのバイトプレート治療 保存的療法が奏功しない顎関節症をどう取り扱うか —外科的治療とその成績—	京都大学教授 大阪歯科大学教授 京都大学教授	本庶 佑 井上 宏 飯塚忠彦
43	平成3	1991 11/10	和歌山県 和歌山市 和歌山市民会館 テーマ「より良い歯科医療を求めて」 医療と人間 口腔の病変—診断から治療へ— 歯周治療今日の話題	和歌山県立医科大学名誉教授 和歌山県立医科大学教授 大阪歯科大学教授	山本 宏 坂本忠幸 山岡 昭
44	平成4	1992 9/27	大阪府 大阪市 ホテルプラザ テーマ「今、そして、次代への想いを込めて」 北海道で考える 歯科治療の現状と将来 新しい時代の修復治療について	脚本家 北海道大学歯学部教授 大阪歯科大学教授	倉本 聰 内山洋一 藤井弁次
45	平成5	1993 11/14	福井県 福井市 フェニックスプラザ テーマ「噛む（食と健康を考える）」 健康づくり—その食べ方と生き方— 子供と口の未来のために さまざまな才能	筑波大学教授 元東京大学助教授 作家	鈴木正成 井上直彦 渡辺淳一
46	平成6	1994 10/16	兵庫県 神戸市 神戸国際会議場 テーマ「成熟社会への歯科医療—8020をめざして—」 21世紀に向かう医学医療 デキシーランドジャズ演奏 接着の進歩が歯科医療をどこまで変えるか 症例から見た総義歯の咬合様式 —リンガライズオクルージョンを中心に—	国際高等研究所理事長 神戸市立中央市民病院名誉院長 京都大学名誉教授 大阪歯科大学教授 徳島大学歯学部教授	岡本道雄 藤井弁次 松本直之
47	平成7	1995 9/10	奈良県 奈良市 奈良県新公会堂 テーマ「まほろばに集う九つの力—歯科医療の飛躍を胸に一」 患者の雑談 能楽 金春流 春日竜神 歯科治療を成功に導くために —今何を考え何をなすべきか—	放送タレント D.D.S.,M.S.D. （補綴専門医ロサンゼルス開業）	永 六輔 Raymond L. Kim
48	平成8	1996 10/ 6	京都府 京都市 パルスプラザ テーマ「長寿と8020」 冒険病理学から見た長寿の秘訣 歯周病のリスク因子と歯周治療の未来 歯周治療のガイドラインとその実践 シンポジウム長寿と8020	京都大学大学院教授 大阪大学歯学部教授 九州歯科大学教授	家森幸男 岡田 宏 横田 誠 家森幸男 岡田 宏 横田 誠
49	平成9	1997 10/19	石川県 金沢市 金沢市文化ホール テーマ「21世紀をめざして—歯と健康—」 独創力の秘密—なゼエジソンを越えられたか— 噛み合わせの全身への影響	国際創造学者工学・法学・医学博士 朝日大学学長	中松義郎 船越正也

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
50	平成10	1998 10/ 4	大阪府 大阪市 ビジネスパークIMPホール テーマ「躍進する明日への歯科医療をもとめ —20世紀の反省をこめて—」 倭国の女王卑弥呼—邪馬台国は大和— 新しい歯科医療概念に基づく歯の保全 QOLを高める補綴咬合治療	奈良大学学長 岡山大学歯学部教授 大阪歯科大学教授	水野正好 山下 敦 井上 宏
51	平成11	1999 11/14	滋賀県 大津市 県立芸術劇場びわ湖ホール テーマ「新世紀へ、私達の求めるもの、求められるもの —歯科から健康科学への発進を—」 星“地球”の大自然の中で びわ湖ホール 声楽アンサンブル シンポジウム 歯の未来学 —21世紀の歯科医療をさぐる— パネルディスカッション	作家、探検家 東京都開業 愛知学院大学歯学部教授 京都大学大学院医学研究科感覚運動 系病態学分野（口腔外科学）教授	C.W.ニコル 柏田聡明 野口俊英 飯塚忠彦
52	平成12	2000 10/22	兵庫県 神戸市 神戸国際会議場 テーマ「世紀をこえて—全身の健康と歯科医療—」 ガン患者の社会復帰を目指す粒子線治療について 有歯根膜咬合支持の顎口腔機能並びに全身機能への役割 咬合と全身の健康のかかわり	兵庫県立成人病センター総長 大阪歯科大学教授 大阪大学名誉教授 東京歯科大学客員教授	阿部光幸 川添堯彬 丸山剛郎
53	平成13	2001 11/11	富山県 富山市 富山国際会議場 テーマ「生命と環境」 脳を通して何が見えるか 健康を脅かす歯周病原菌 口腔領域における遺伝—その現状と未来—	北里大学教授 東京歯科大学教授 九州大学大学院教授	養老孟司 奥田克爾 中田 稔
54	平成14	2002 10/27	京都府 京都市 国立京都国際会議場 テーマ「つなごう未来へ」 医療改革の見通しと歯科医療 歯科医療再生への選択 これからの歯科医療提供の考え力 —開業医の立場から— シンポジウム	慶応義塾大学大学院教授 東京医科歯科大学大学院講師 北海道札幌市開業	田中 滋 寺岡加代 永山正人 田中 滋 寺岡加代 永山正人
55	平成15	2003 10/ 5	和歌山県 和歌山市 和歌山県民文化会館 テーマ「知の世紀 現在（いま）、何をなすべきか」 ～人にやさしい医療を求めて～ 古代エジプト文明の魅力 失敗しない接着ブリッジの臨床 口から上手に食べられるようになった —それは力強く生きられるということでした— 今後の歯科医院の方向	早稲田大学教授 早稲田大学エジプト学研究所所長 鹿児島大学大学院教授 神奈川県茅ヶ崎市開業 デンタル・マネジメント・コンサルタント	吉村作治 田中卓男 黒岩恭子 稲岡 勲
56	平成16	2004 11/ 7	大阪府 大阪市 大阪国際会議場 テーマ「躍進する明日への歯科医療をもとめ ～21世紀の輝ける展望を～」 再生医療と歯科の未来 安全な歯科医療の現在と未来	東京大学医科学研究所教授 名古屋大学大学院医学系研究科教授 大阪市立大学大学院医学系研究科助教授	上田 実 津村 圭
57	平成17	2005 10/ 2	福井県 福井市 フェニックスプラザ テーマ「食と健康～おいしく食べて元気で長生き～」 味を目で見る 和食の底力 豊かな味覚でおいしく食べる事の大切さ	九州大学大学院教授 東京農業大学教授 大阪大学大学院教授	都甲 潔 小泉武夫 山本 隆

回数	年度	西暦	主管 会場 大会テーマ・演題	演者役職	演 者
58	平成18	2006 11/19	兵庫県 神戸市 神戸国際会議場 テーマ「未来を見つめて—信頼と安心—」 環境の世紀、日本の世紀 歯周組織再生療法の未来を願望する メインテナンスが歯科医療を変える —ケア型医療の可能性—	衆議院議員 大阪大学大学院歯学研究科教授 東京医科歯科大学臨床教授	小池百合子 村上伸也 内山 茂
59	平成19	2007 10/ 7	奈良県 奈良市 なら100年会館 テーマ「健康長寿をめざして —口腔の健康から全身の健康へ—」 糖尿病と歯周病 ～お口の異常と全身病、その不思議な関係～ 歯周病が及ぼす全身への影響について 異業種に学ぶ歯科医療再生への特効薬	滋賀医科大学教授 東京女子医科大学客員教授 ㈱JPNリサーチ代表取締役社長	柏木厚典 石川 烈 榎藤ひとみ
60	平成20	2008 10/19	京都府 京都市 国立京都国際会館 テーマ「21世紀の健康を支える歯科医療 —オプティマルヘルスを求めて—」 脳を知り、脳を鍛える 口腔から実践する抗加齢（アンチエイジング）医学 —新たな歯科医療の展開を求めて— 歯科医師のためのアンチエイジング医学 —歯から全身を 全身から歯を診る— 歯周病患者の機能回復—骨結合型インプラントの応用— 歯周治療か？インプラントか？ —歯科衛生士が知っておきたい歯周治療の最前線—	東北大学加齢医学研究所教授 鶴見大学歯学部教授 同志社大学生命医科学部教授 明海大学歯学部教授 京都府歯科医師会会員	川島隆太 齋藤一朗 米井嘉一 申 基喆 牧草一人
61	平成21	2009 10/25	石川県 金沢市 石川県立音楽堂 テーマ「ハッピーエイジング・歯科医師としての挑戦」 生とは何かを見つめて 歯周組織再生療法の未来を展望する マイクロエンドドンティクスの実際 咬合と顎関節症	諏訪中央病院名誉院長 大阪大学大学院歯学研究科教授 東京医科歯科大学大学院教授 大阪大学大学院歯学研究科教授	鎌田 實 村上伸也 須田英明 矢谷博文
62	平成22	2010 11/ 7	大阪府 大阪市 マイドームおおさか テーマ「躍進する明日への歯科医療をもとめ」 環境問題から見た近未来 現代から未来への咬合治療 ～安全・安心の歯科医療のために～ 歯科治療の近未来～その理論と臨床～	中部大学 総合工学研究所教授 大阪歯科大学理事長・学長 大阪大学大学院 歯学研究科教授	武田邦彦 川添堯彬 村上伸也
63	平成23	2011 11/ 6	滋賀県 大津市 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール テーマ「生活を支える医療、歯科に求められるもの」 医療提供体制の変化と歯科の果たす役割 スポーツを通じての健康な生活の支援、スポーツ力を 高める歯の健康について Tooth Wearとは何か？ —アンチエイジングの観点から考える— 高齢者歯科医療の今後を考える	独立行政法人 国立長寿医療 研究センター 総長 参議院議員 岡山大学大学院医歯薬学総合研 究科 歯科保存修復学分野教授 大阪歯科大学高齢者歯科学講座教授	大島伸一 谷 亮子 吉山昌宏 小正 裕

《 交通案内 》



【電車をご利用の場合】

大阪・京都～三宮

- JR神戸線（新快速利用） 「大阪」駅から「三ノ宮」駅まで20分
「京都」駅から「三ノ宮」駅まで48分

- 阪急・阪神（特急利用） 「梅田」駅から「三宮」駅まで27分

三宮～神戸国際会議場

- ポートライナー「三宮」駅から「市民広場」駅まで10分
「市民広場」駅より神戸国際会議場まで徒歩3分

【お車をご利用の場合】

- 阪神高速3号神戸線「京橋I.C」より約10分

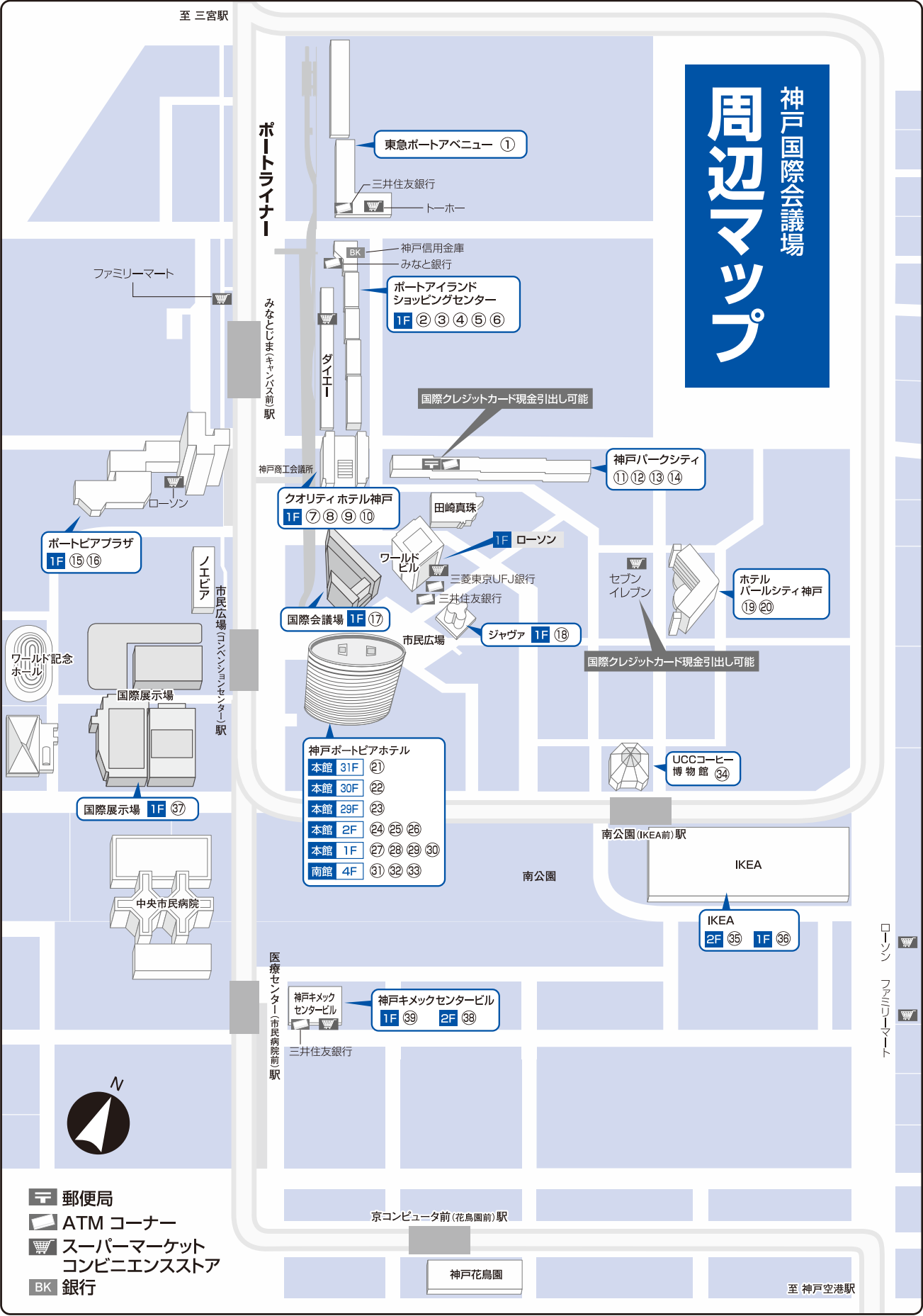
《 周辺駐車場 》



※会場に駐車場はありません。

- ・市民公開講座の市民向け募集は終了しています。
なお、会員は市民公開講座への事前登録の必要はありません。
- ・講演中の録音・カメラやビデオの撮影はご遠慮願います。
- ・会場内では携帯電話の電源をお切りください。
- ・当日は、日歯生涯研修事業ICカードをご持参ください。
- ・学術講演（2）は日本糖尿病協会歯科医師登録医のための講習会の受講票が発行されます。
- ・昼食はP16・17の会場周辺レストラン案内などをご参照ください。
会場でお弁当の販売は致しておりません。
- ・神戸国際会議場には駐車場がありません。
車でお越しの方は会場周辺の駐車場をご利用願います。
- ・このプログラムは当日お渡し致しませんので、必ずご持参ください。
ご不明な点は、兵庫県歯科医師会（078-351-4181代）までお問い合わせください。

会場周辺レストラン案内



東急ポートアベニュー		①	ナチュラルダイニング&カフェ beans 【日曜定休日】	☎078-303-9195
ポートアイランド ショッピングセンター	1F	②	喫茶・軽食 KOYO	☎078-302-1255
		③	お好み焼き とくしま	☎078-302-5787
		④	ハンバーガー ドムドム	☎078-302-5774
		⑤	レストラン ビッグボーイ ポートアイランド店	☎078-302-5598
		⑥	讃岐製麺所	☎078-303-8233
クオリティホテル神戸	1F	⑦	レストラン ディアナ	☎078-303-5555
		⑧	和食レストラン KOBE 百跳	☎078-303-5561(代)
		⑨	若鶏料理 オールインチキン 【日曜定休日】	☎078-303-0052
		⑩	割烹・小料理 利秀庵	☎078-303-5561
神戸パークシティ		⑪	コミュニティカフェ 憩 【日曜定休日】	☎078-303-6241
		⑫	焼肉 牛太郎	☎078-302-7665
		⑬	焼鳥 こにし	☎078-302-0099
		⑭	居酒屋 にくてんや 【日曜定休日】	☎078-303-2006
ポートピアプラザ	1F	⑮	ステーキ 桜井	☎078-303-3901
		⑯	中国料理 華苑	☎078-302-5506
国際会議場	1F	⑰	レストラン テラッセ	☎078-302-1050
ジャヴァ	1F	⑱	讃岐うどん ことのは	☎078-569-1154
ホテルパールシティ神戸		⑲	レストラン&カフェ プラシャンティ	☎078-303-0100
		⑳	和食処 花真珠	☎078-303-6649
神戸ポートピアホテル	本館 31F	㉑	フランス料理 トランテアン 【5月下旬開業】	
	本館 30F	㉒	スカイラウンジ プレデトワール	☎078-303-5230
	本館 29F	㉓	中華料理 聚景園	☎078-303-5202
	本館 2F	㉔	バー レスタカード	☎078-302-1111
		㉕	鉄板焼 但馬	☎078-303-5203
		㉖	ダイニングカフェ SOCO	☎078-302-1106
	本館 1F	㉗	日本そば 水野	☎078-302-6294
		㉘	おでん 京和田	☎078-302-1147
		㉙	ティーラウンジ ベルクール	☎078-302-1533
		㉚	デリカテス アラメゾン	☎078-302-1108
	南館 4F	㉛	日本料理 神戸たむら	☎078-303-5206
		㉜	鮨 すし萬	☎078-303-5249
		㉝	手廻うどん いなにわ	☎078-302-6294
UCCコーヒー博物館		㉞	コーヒーショップ コーヒーロード	☎078-302-8823
IKEA	2F	㉟	スウェーデン料理 イケアレストラン&カフェ	☎078-304-7000(代)
	1F	㊱	ホットドック・ドリンク他 イケアビストロ	☎078-304-7000(代)
国際展示場	1F	㊲	レストラン Kitchen Planet	☎078-302-5310
神戸キメック センタービル	2F	㊳	麺処・お食事処 みなと庵縁 【日曜定休日】	☎078-302-2135
	1F	㊴	デイリーヤマザキ	☎078-302-5662

市民公開講座

変化する時代に求められるリーダーとは？
～人を育て、組織を動かす～

神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー 兼 総監督

平尾 誠二



変化する時代に求められるリーダーとは？ ～人を育て、組織を動かす～

神戸製鋼ラグビー部
ゼネラルマネージャー 兼 総監督
元 ラグビー日本代表監督

平 尾 誠 二

今、我々は何が起こるか、どう変わるかわからない状況に立たされ、従来の常識や固定観念に縛られていては時代や社会の変化・進化に対応できない。一人一人の人間が、古い枠組みを破壊し、新しい枠組みを自力で考え、創造していくことが求められている。

個々のメンバーが自ら考えて主体的に行動し、それを集団の力として結集することができれば、組織の力も強くなる。個々の力を活かすためには、どのようなリーダーシップが今求められているのか。

リーダーシップについて定義というものはない。人がついてくるかどうかである。2つのエピソードで、リーダーのあり方について語る。

1つ目は高校時代の恩師との話で、その恩師は常に目線が自分達と同じであり、簡単に勝てる試合でも手を抜かないことを教えられた。どんな状況であれ100%の力を出さない限り、人は成長しないことを教わった。厳しい指導者であったが、愛情や熱情があれば人はついてくると確信した。

2つ目は気づきについての話で、恩師は自ら多くは語らないが、自分自身で気づくためのヒントを与え、それに初めて気づいたときにほんとうのことが見えてきた。ミスをするのは自分だけでない。ミスをしたことに対してすぐに反省するのではなく、いかに冷静でいられるか。また、行動を起こさず負けるより、行動して負けるほうが良いことに気づかされた。自分で気づくことがその人間にとって何より大事なことであれば、指導者の側から見れば、「気づかせてやる」ことがいちばん重要だということになる。人から言われてとか怒られてではなく、「自分から気づく」ように仕向けてやらなければならない。

尊敬されるリーダーとは、愛情や情熱を持って相手と接し、またリスクがある状況においても自分自身で判断できる機会を設けてあげられるようにしなければならない。

略歴：

1963年 京都市生まれ。

1981年 伏見工業高校3年時、全国大会優勝。

1982年 同志社大学在学中、史上初の大学選手権3連覇に貢献。

1986年 神戸製鋼所に入社。

1989年～1995年 入社3年目よりチームを7年連続日本一に導く。

1991年 ワールドカップ出場。キャプテンを務め、日本代表初勝利を飾る。

1995年 ワールドカップ3大会連続して出場。日本代表キャップ35。

1997年～2000年 日本代表監督

2000年 特定非営利活動法人「スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構（SCIX）」を設立。
理事長に就任。

2003年 同志社大学大学院「総合政策科学研究科」修士課程修了。

主な役職：

2006年 （財）日本ラグビーフットボール協会 理事

2008年 （財）日本サッカー協会 理事

2011年 文部科学省中央教育審議会委員

主な著書：

・勝利のチームメイク（共著）／日本経済新聞社2003年 4月

・気づかせて動かすー熱情と理のマネジメントー（共著）／PHP研究所2003年 10月

・キリカエ力は、指導力ー常識も理屈も吹っ飛ぶコーチングー（監修）／梧桐書院2005年 10月

・人は誰もがリーダーである／PHP新書2006年 11月

・型破りのコーチング（共著）／PHP新書2009年 12月



MEMO

学 術 講 演

4Stepで完成. 下顎吸着義歯とBPSパーフェクトマニュアル
～歯科技工士と共に作るシステマティックな義歯製作～

東京都開業 阿部 二郎

患者満足度を上げる歯周チーム医療

大阪府開業 山本 浩正



4Step で完成． 下顎吸着義歯と BPS パーフェクトマニュアル ～歯科技工士と共に作るシステムティックな義歯製作～

東京都開業 阿 部 二 郎

現在の臨床医における総義歯製作レベルは、概形印象、精密印象、咬合採得の各方法を歯科医師が自由に選択実践していたため、その差が大きいのが現状である。たとえば、上下顎義歯とも概形印象だけで義歯を仕上げる歯科医師、各個トレーにコンパウンドを用いて印象する歯科医師、そして咬座印象を行う歯科医師のように、術者の考えや実情に合わせた製作方法の選択が容認されてきた結果、レトロモラーパッドや上顎結節が十分に含まれない義歯床が多くみられるようになった。このような事態を避け、できるだけ確実に総義歯を成功に導くためには、簡単でスピーディーに学べ、そして、誰にでも実践可能な義歯製作システムを導入する必要がある。BPS：Bio-functional Prosthetic System：生体機能補綴システムは、Ivoclar Vivadent社が開発した義歯製作システムであり、現在、アメリカ49校中23校の教育カリキュラムに取り入れられている。このBPSを取り入れることで、歯科界全体のレベルアップにつながると同時に、下顎総義歯・吸着メカニズムと融合させることで、その達成率もアップさせることができる。

そこで今回は、このBPSを用いた下顎吸着義歯製作法を紹介し、皆様のお役にたちたいと考えている。

生涯研修コード 26 08

略歴：

1981年 東京歯科大学卒業
1982年 東京都調布市開業
1997年～2006年 日本臨床歯周療法集談会（JCPG）
常任理事
1999年～2004年 日本顎咬合学会常任理事
2004年～Japan Denture Association 代表
2006年～FDI演者登録医
FDI（世界歯科機構）義歯専門医
（日本でただ一人の開業医）
2008年～BPS International Clinical Instructor
2008年～東北大学大学院歯学研究科在籍

主な役職：

2001年～GC社講師
2008年～Ivoclar Vivadent社講師
2008年 日本歯科医師会生涯研修セミナー 講師
2009年～モリタ社講師

主な著書：

- ・誰にでもできる下顎総義歯の吸着，ヒョーロン，東京，2004.
- ・阿部二郎：みんなでいっしょに歯周補綴、医歯薬出版、東京、2006.
- ・下顎総義歯・吸着までの道のり デンタルダイヤモンド，東京，2007.
- ・4 Step で完成．下顎吸着義歯とBPSパーフェクトマニュアル，クインテッセンス，東京，2011.

(DVD)

- ・阿部二郎：「臨床・下顎総義歯の吸着—いつまでもおいしく食べていただくためにPart II」、日本歯科医師会、2008.



患者満足度を上げる歯周チーム医療

大阪府開業 山 本 浩 正

歯科医院の“暖簾”の前で患者さんがそわそわしている。初めて来られた患者さんで“暖簾”を押す不安と勇気に揺り動かされているようである。重い暖簾を押して入ってこられた患者さんが触れる空気には、“あなたのこと治してみせます”という分子が浮かんでいなければならない。患者さんの不安を減らし、勇気を増やすこの分子は、スキルを磨き、エビデンスで武装したプロフェッショナルがかもし出すオーラが主成分である。このオーラは不安一杯の動的治療を乗り切ったあとに残る達成感や満足感を担保している。

歯科医院の“暖簾”を何のためらいもなく、勢い良くくぐる患者さんがおられる。どうも定期健診にお見えのメンテナンス患者さんのようである。軽くなった暖簾を押して入ってこられた患者さんが触れる空気には、“あなたを悪くさせません”という分子が浮かんでいなければならない。患者さんの心配を減らし、笑顔を増やすこの分子は、ケアのハートを持ったプロフェッショナルがかもし出すオーラが主成分である。このオーラはメンテナンスという長期ロードを継続していく安心感を担保している。

さまざまな患者さんが歯科医院の暖簾をくぐって入り、くぐって出て行く。それぞれの患者さんの満足度を高め、そして“メンテナンスという暖簾”をくぐり続けていただくためにはチーム医療が欠かせない。暖簾の向こうに自分のことを一番わかってきている歯科医師や歯科衛生士がいるという安心感や期待感は歯科医院の敷居を低くしてくれるからだ。“あなたのことをわかっています”という分子に満ちた診療室には患者さんを引き寄せる力がある。この引力を強くするために、歯科医師や歯科衛生士がどのように取り組むべきか、スキルに基づいた、根拠に基づいた、そして愛情に基づいたアプローチについてお話したいと思う。スタッフみんなで“いけてる暖簾”を作ってみませんか？

本講演は日本糖尿病協会歯科医師登録医のための講習会の受講票が発行されます。

生涯研修コード 25 04

略歴：

1985年 大阪大学歯学部卒業
1985年 ONデンタルクリニック（現貴和会歯科診療所）勤務
1987年 Institute for Advanced Dental Studiesにて研修
1989年 米国歯周病学会会員、JIADS常任講師（2003年退任）
1994年 山本歯科開設
1998年～2002年 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座在籍
2002年～2005年 PHEC（Professional Hygienist Education Course）常任

主な役職：

2006年～ PEC（Postgraduate Education Course）主宰
2007年 新潟大学歯学部非常勤講師
2009年～ 大阪大学歯学部招聘教員

主な著書：

- ・Periodontal Team Therapy—歯科医師の視点 歯科衛生士の視点、医歯薬出版、東京、2010.
- ・Dr.HiroのペリオでUP！！患者満足度、クインテッセンス出版、東京、2010.
- ・歯科衛生士のためのDr.Hiroの知って納得！ペリオドントロジー、クインテッセンス出版、東京、2010.
- ・超明解メンテ・ザ・ペリオ、クインテッセンス出版、東京、2008.

第65回 近畿北陸地区歯科医学大会

日 時：平成25年10月27日（日）

場 所：富山国際会議場（富山県富山市大手町1-2）

メインテーマ：「生命と環境Ⅱ」—その近未来を展望する—

講 師：池田 清彦（早稲田大学国際教養学部 教授）

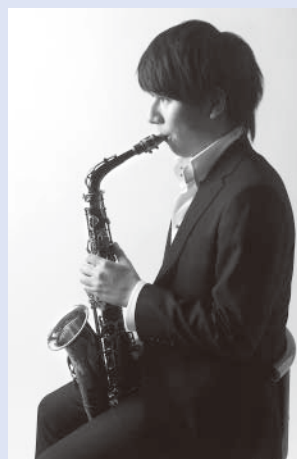
岩井 武尚（東京医科歯科大学 名誉教授）

和泉 雄一（東京医科歯科大学大学院 教授）

次回は富山県!



Welcome JAZZ 演奏：浅井良将トリオ



第64回近畿北陸地区歯科医学大会が開催される神戸は日本のジャズ発祥の地といわれています。兵庫県下にはジャズの生演奏を聴かせてくれるお店が多数あり、ジャズイベントと呼ばれるものも年間を通じて開催されています。たとえば、神戸ジャズストリートやJapan Student Jazz Festivalなどは全国的に有名です。少しでも“ジャズの街”の雰囲気を感じとっていただければと、午前と午後の講演前に新進気鋭の若手ジャズメンの演奏をお楽しみください。

浅井 良将

Ryosuke Asai

1985年11月30日兵庫県神戸市に生まれる。甲南中学・高校にてKonan Brass Ensembleに所属し、2002年Student Jazz Festivalでは兵庫県知事賞を受賞。

2006年米国で開催されたInternational Association of School Jazzに参加し、奨学金12000ドルを獲得する。2007年第一回神戸ネクストジャズコンペティションでは準グランプリを受賞。

現在、名古屋、東京にも活動範囲を広げ、自己のリーダーバンドをはじめ、市原ひかりグループ、宮川純グループ、高橋知雄New Impressionなどで演奏活動を行っている。自主レーベルGrey Heron Musicを立ち上げ、2010年に第一弾「A Precious Thing」を発表。Jazz Life紙に載るなどし、成功を収めた。

PORTOPIA DENTAL SHOW 2012 神戸

ポートピアデンタルショー

チーム医療が創る未来



日時 2012年 6月9日（土）11:00～18:00 / 10日（日）9:00～16:00

会場 ワールド記念ホール



主催 近畿北陸地区歯科医師会、(社)兵庫県歯科医師会 ▶ <http://www.hda.or.jp/>

運営 近畿歯科用品商協同組合 兵庫県支部、ポートピアデンタルショー2012 神戸実行委員会
▶ <http://homepage2.nifty.com/PDS-KOBE/2012>

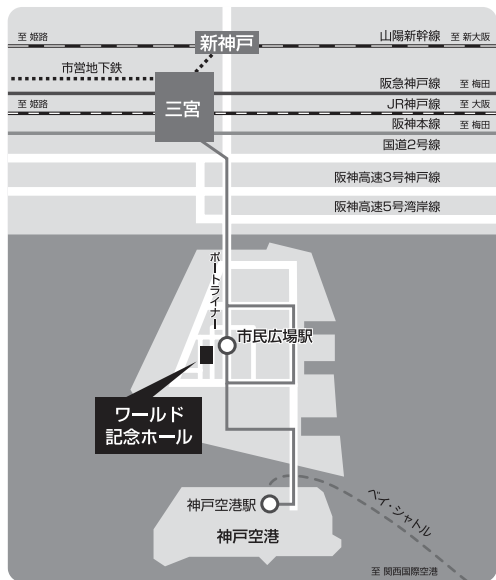


■電車・飛行機でお越しの方

新大阪駅	新幹線 13 分	新神戸駅	市営地下鉄 2 分
姫路駅	新幹線 17 分～26 分		
大阪駅・梅田駅	阪神 特急 27 分 阪神 特急 31 分	三ノ宮駅・三宮駅	ポートルライナー 10 分
京都駅	JR 新快速 20 分 / 快速 27 分		市民広場駅 徒歩 3 分
姫路駅	JR 新快速 50 分 / 快速 68 分		
伊丹空港	JR 新快速 39 分 / 快速 67 分		
関西国際空港	リムジンバス 約 40 分		
関西国際空港	リムジンバス 約 65 分		
関西国際空港	ベイ・シャトル 30 分	神戸空港	ポートルライナー 8 分

■車でお越しの方

- * 大阪方面より阪神高速 3 号神戸線『京橋』出口より、約 7 分。『生田川』出口より、約 9 分
- * 阪神高速 5 号湾岸線、住吉浜出口～ハーバーハイウェイ経由、ポートアイランド降り口から約 3 分
- * 岡山・姫路方面より阪神高速 3 号神戸線、『京橋』出口より、約 7 分



●ワールド記念ホール (神戸ポートアイランドホール) 〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-12-2



●近畿歯科用品商協同組合 兵庫県支部
ポートピアデンタルショー 2012 神戸実行委員会

<http://homepage2.nifty.com/PDS-KOBE/2012>



でん太

兵庫県歯科医師会

〒650-0003

兵庫県神戸市中央区山本通5丁目7-18

TEL.078-351-4181